



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

公安系公務員合同説明会 ～群馬県立渋川工業高等学校～

1等陸曹 笹井 直紀

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 2等陸尉 土屋 章）は、令和7年7月14日（月）に群馬県立渋川工業高校において参加者計6名に対し、公安系公務員合同説明会を行いました。

説明会には、防衛省自衛隊、渋川広域消防本部、法務省前橋刑務所の3機関が一堂に会し、各機関の担当者それぞれの職務内容や求める人材、やりがいについて説明しました。

また、質疑応答では、一人一人の質問に対して丁寧に、時には笑いを含ませながら理解を図りました。

参加者からの感想では、「受験する意思が固まった。」「最初は消防一択で進路選択を考えていたが、他の機関の魅力を知る事が出来て良かった。」「進路の選択肢の幅が広がった。」などの前向きな感想が聞かれ、公務員を目指す生徒が実際の現場の声を聞き、各機関の理解を深めることにより、新たな選択肢を見つけるきっかけとなった様子でした。

前橋募集案内所では、今後も各機関と連携しながらこの企画を継続し、より多くの生徒が自身の夢に向かって職業選択をしてもらうために更なる理解を図っていきます。



「医師 × 自衛隊 = 自衛隊医官の世界」

2等陸曹 早坂 健治

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 2等陸尉 土屋 章）は、令和7年7月15日（火）に伊勢崎市立四ツ葉学園中学校において、防衛医科大学校を卒業し、現在は第12旅団医務官として勤務中の神津2佐をお招きし、特別講話を行いました。今回の講話は、医師を志す生徒57名に対し、防衛医大での学びや卒業後の進路をより具体的に理解していただく場として開催しました。

講話の冒頭では、防衛医科大学校入学後の学業・訓練・寮生活など、学生時代のリアルな日常が語られました。「医学の勉強だけでなく、防衛医大ならではの規律ある生活が自分を大きく成長させてくれた」と語る神津2佐の言葉には、説得力があり、参加した生徒たちも真剣な眼差しで聞き入っていました。

卒業後のキャリアパスとしての現場経験など、自衛隊医官としての具体的な活動内容についても紹介がありました。

講話後の質疑応答の時間では、「医官としてのやりがい」「自衛隊医官を選択した理由」「勉強に対するモチベーション、取り組み方などのアドバイスや心構え」「学習以外でやっておいたほうがいいことはありますか」など、将来の進路に不安を抱える生徒たちからの率直な質問に神津2佐もひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。

本講話を通じて、参加者は防衛医科大学校が求める「アドミSSION・ポリシー」を具体的にイメージすることができ、進路選択の大きなヒントとなったようです。また、生徒からも「医師になりたい、絶対になろうという気持ちが強まった」「とても充実した時間でした」など防衛医科大学校への興味・関心が高まったとの感想が多く、最後には生徒代表によるお礼がありました。

前橋募集案内所は、今後も将来の医療を担う若者たちが、自らの可能性を広げるための場として、このような講話の機会を積極的に提供していきたいと考えています。

